

## 第2学年特別な教科 道徳 学習指導案

日 時：令和4年11月15日（火）6時間目

対象学級：九戸村立九戸中学校 2年A組

指導者：會 津 響 平

### 1 題材名

【B（7）礼儀】

「秀さんの心」（光村図書 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2）

### 2 内容のまとめ

新学習指導要領「特別な教科 道徳」における内要項目「礼儀」には、内容項目B「主として人との関わりに関すること」の（7）として「礼儀の意味を理解し、時と場に応じた適切な行動をとること。」と示されている。

「礼儀」は他者に対するものであり、他者を尊び、その気持ちを具体的に行動で示すことである。相手を尊ぶ行動が、言葉遣いや態度、動作といった形（行動）になって表現される。つまり、心と形が一体となって初めて価値が認められるといえる。形が丁寧であっても心が伴ってなければ、真に相手を敬う態度や振る舞いとはいえない。逆に相手を尊重する気持ちがあっても形が不十分であれば、その心が通じない。

礼儀は、人間関係を豊かにするとともに、社会生活を円滑にするために創り出された文化であり、人としての生き方の基本になるものである。こうした礼儀の意義を理解し、心のこもった適切な言動をとろうとすることが大切である。

### 3 生徒観

生徒は7月に職場体験に向け、マナーアップ講座や事前指導の中で挨拶や言葉遣いなど礼儀指導を受けている。礼儀については、今までの日常生活の中で「礼儀」を大切にしなければならぬ理由は知っている。しかし、なぜ礼儀が必要なのかということは、自分の中ではわかっているが、行動に移すことができない生徒も多い。本題材を通して、礼儀の意味を考えさせたい。

### 4 教材の特徴

造園業を営む「ひかり造園」で職場体験をすることになった昌雄と久志が、礼儀を重んじる職人の秀さんとの関わりの中で、礼儀の大切さや意味について考えていく内容である。本題材は、職場体験の出来事を扱っており、生徒にとっても身近に感じられる題材である。昌雄の心情の変化を追いかけながら、礼儀の意味を考えさせたい。

### 5 教科研究との関わり

研究主題 「進んでコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

～考えを広げ、深める対話的な学びの工夫を通して～

研修主題に関わって、道徳の授業では、他者との対話を繰り返しながら、自分の考えを再構築し、他者と共に納得解や最適解を作り上げる生徒の育成を目指す。そのために、授業において、「発問の吟味」と「問い返し」を意識しながら授業実践を行ってきた。他者との対話をするためには、すべての生徒が自分の考えを持つことが大切である。したがって、発問は具体的にかつシンプルに吟味する必要がある。

本時の授業では、中心発問を「昌雄の胸がだんだん熱くなったのは、なぜだろうか」とした。この場面は、本題材において、一番礼儀の意味を深く考える場面だと考える。昌雄が、秀さんの姿を見て礼儀について考えたことを見つめさせ、秀さんへの思い、昌雄自身の思い、昌雄が秀さんにすべきことについての思いなど、様々な角度から考えさせたい。また、「昌雄の行動は礼儀正しいといえるのか」「秀さんにとって礼儀とは何か」と教師からの問い返しをすることで、「礼儀とは、他者に対するものであり、相手に自分の思いを形として伝えるもの」などといったところまで考えさせたい。また、少人数での交流を適宜取り入れることで、教師対生徒のやり取りだけではなく、生徒間でも語らせ、自分の考えを深めさせたい。

## 6 本時の指導

### (1) 目標

職場体験で、心のこもった礼儀の在り方にふれた2人の生徒の物語を通して、礼儀の意味を考えさせ、時と場になつた適切な行動をとろうとする態度を育てる。

### (2) 展開

段階	学習活動と学習内容 ・予想される生徒の反応	指導上の留意点 (◇評価、研究1、研究2)
導入 5分	1 導入 礼儀正しい行動とは何か考える。 ・挨拶をする→関係づくり ・言葉遣い→相手への敬意  2 学習課題を把握する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     “礼儀”には、どのような意味があるだろうか                 </div>	○「その行動は何のためにするのか」と問い返すことで課題意識をもって学習に取り組めるようにする。
展開 40分	3 登場人物を確認する。  4 範読を聞く。  5 資料を読んで考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     「さっきの頭の下げ方はいかんと言われたとき、昌雄はどんなことを思ったか。」                 </div>	・昌雄の気持ちが表れているところに着目しながら聞くように伝える。
	・怒られるのが嫌だから、頭を下げよう。 ・職人でもないのになぜ深々と頭を下げるのだろうか。  6 考えを交流する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     昌雄の胸がだんだん熱くなったのは、なぜだろうか。                 </div>	○価値に迫る発問（主発問）
	・人にも木にも敬意を示している秀さんの姿をみて、かっこいいと思ったから。 ・ごまかそうとする自分のことが恥ずかしくなったから。 (補助発問) 「昌雄の行動は“礼儀正しい”と言えるだろうか」 「秀さんにとって礼儀とは何か」  7 再び礼儀の意味について、考える。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     「礼儀にはどのような意味があるか」                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <b>研究1</b> </div> 発問の吟味・問い返し  ○価値を深める発問
終末 5分	8 個人で、本時の振り返りをする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     これまでは、礼儀は大切だということにはわかってはいたけど、なぜ大切かまで考えず、ただ挨拶やお辞儀をしていた。でも、礼儀は相手に対して自分の思いを形として表すものだった。                 </div>	◇評価

## 7 板書計画

本時のテーマ

「礼儀には、どのような意味があるか」

昌雄の胸がだんだん熱くなったのはなぜか。

礼儀正しい行動とは・・・

- ・挨拶をする →関係づくり
- ・言葉遣い →相手への敬意
- ・礼を深くする



昌雄の行動は正しかった？

礼儀には、どのような意味があるか。

秀さんにとって、礼儀とは・・・

- ・仕事にしっかりと向き合うこと
- ・感謝の思い